

2013年(平成25年)11月25日(月曜日)

ふれあいトラック

フェスタ2013



今年もOCHISが健康コーナーを

大阪府下最大の一般社団法人、会員数3600を擁する大阪府トラック協会は10月20日、トラックの日になんだ毎秋恒例のビッグイベント「ふれあいトラックフェスタ2013」を吹田市の万博記念公園で挙行了。トラック事業の社会性、有用性に対する理解を求めるのが目的。この日は、あいにくの雨模様だったが例年通り各種フリーマーケットや屋台のほか献血、体験コーナーなど多彩な催しを通じ大ト協の運営理念「社会との共生」をアピールした。入場者数は5千人と昨年の2万7千人と比べ寂しかったがフリーマーケットでは青年協議会のメンバーが威勢のいい掛け声で来店を呼び掛けたほか、献血コーナーでは予想以上の献血者が。坂本克己会長は開場に際し「震災の復旧で最後に頼りになるのがトラック輸送。阪神や東日本大震災であらためて実証された。トラックは日々の暮らしと経済を支えるため大雨の日でも台風の中でも毎日走っている」と挨拶した。

大ト協が文字通り社会と共生する1日を写真で振り返る。